

発行
大分県議会県民クラブ
大分市大手町 3-1-1
TEL: 097-506-5088
FAX: 097-538-0136
https://kenmin-club.com/

題字: 草刈樵峰

おけのこ

神楽女湖花しょうぶ園 (別府市)

昨年、能登半島地震で家屋倒壊による甚大な被害が生じたことを受け、県内でも耐震化への意識が高まっています。

県では新年度から、市町村と連携して耐震改修に対

■防災対策の強化について

二月二十五日に開会した第一回定例会は、三月二十七日に当初予算案など上程議案に対する採決が行われ、三十一日間にわたる全会議日程を終えました。

審議した内容は、新年度予算や物価高騰対策等の補正予算のほか、新たな地方創生大分県総合戦略の策定に関するものなど、執行部提出の議案としては合計九十七議案でした。

県独自に支給している移住応援給付金を見直し、新たに若年者や子育て世帯に対する加算制度が設けられます。

また、移住の決断において決めてとなる仕事に関するサポートが行われます。

■移住・定住の促進と魅力ある地域づくりについて

このことは、昨年十二月の定例会で私が提案した内容であり、南海トラフ地震に備え早期に耐震改修が普及することを期待しています。

する補助制度を拡充するとともに、壁や床を解体せず

第1回定例会
人口減少、物価高、人手不足への
的確に対応

■山積する課題に挑戦

人口減少対策、物価高や人手不足への対応、災害対策のための県土強靱化など、県政の課題は山積しています。これらに的確に対応し、大分県の将来を切り拓くため、時流を読み解き進むべき道を見定め、積極果敢に挑戦することが求められます。

■山積する課題に挑戦

人口減少対策、物価高や人手不足への対応、災害対策のための県土強靱化など、県政の課題は山積しています。これらに的確に対応し、大分県の将来を切り拓くため、時流を読み解き進むべき道を見定め、積極果敢に挑戦することが求められます。



新年度予算・事業概要

「安心・元気・未来創造ビジョン2024」の実行元年として、防災対策の強化や人材の確保・育成、広域交通ネットワークの充実、質の高い教育環境の確保などの施策を盛り込んだ積極予算が成立しました。

予算総額は前年度を上回る、7,026億7,700万円となりました。新年度の事業には、私がこれまで議会の一般質問等で取り上げてきた内容が以下のとおり予算化されましたので報告します。

●住宅耐震化総合支援事業

1億4,108万円

既存木造住宅の耐震化を加速するため、改修等に要する経費に対し助成する。

- ・耐震アドバイザー派遣 (300戸→600戸)※自己負担なし
- ・耐震診断 (295戸→525戸)※自己負担一律5,500円
- ・耐震改修に要する経費への助成 限度額150万円(定額)(180戸→200戸)
- ・低コスト工法の普及に向けた、設計者、施工者向け研修会の開催 など

2024 年第4回定例会「住宅耐震化の促進」にて質問
(予算枠の拡大と制度の充実が必要)

●救急安心センター運営事業

3,127万円

救急搬送や医療機関などの救急医療提供体制を確保するとともに、県民に適切な助言を行い安心・安全を提供するため、市町村と連携して救急医療電話相談(＃7119)を県下全域で運用する。

- ・運用開始予定 令和7年7月



2024 年第4回定例会「救急医療体制の充実強化」にて質問
(これまで大分市単独であったものを全県に拡大すべき)

●国際航空路線誘致・拡充促進事業

1億4,108万円

国際線の安定的な運航継続を図るため、市町村等と連携して運航支援や利用促進策を実施するとともに、新規路線の誘致に取り組む。

- ・航空会社に対する空港着陸料等の助成
- ・国際線受入体制強化に向けた地上支援業務人材確保に要する経費への助成

2023 年第4回定例会「大分空港の利用拡大」にて質問
(国際線を複数国へ拡大することが必要)

●多文化共生推進事業

4,394万円

多文化共生を推進し外国人材から選ばれる大分県を実現するため、外国人が地域社会の一員として活躍するとともに、安心して暮らすことのできる環境を整備する。

- ・外国人住民に対する地域での支援モデルの構築(2団体)
- ・生活意識やニーズ把握に向けた外国人意識調査の実施 など



2024 年第1回定例会「共生社会」にて質問
(多様性と包摂性のある社会を実現する施策の更なる充実が求められる)

●ツール・ド・九州推進事業

7,440万円

サイクルスポーツの普及拡大とサイクルツーリズムを通じた地域活性化を図るため、国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州2025」のステージレースを宮崎県と共同開催する。

- ・大会開催日 10月10日(金)～13日(月・祝日)
- 宮崎・大分ステージ(延岡市～佐伯市) 13日(月・祝日)



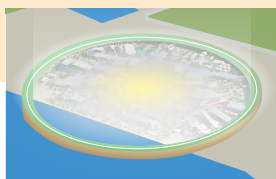
2021 年第2回定例会「ツール・ド・九州」にて質問 (今年で3回目の開催)

●大阪・関西万博を契機とした誘客等促進事業

9,534万円

国内外からの誘客や県産品の販売促進等につなげるため、大阪・関西万博を契機として、観光・食・自然など大分県の魅力を広く発信する。

- ・大阪・関西万博自治体催事への出展 9月3日(水)～5日(金)
- ・大阪市内での情報発信拠点の設置及びPRイベントの開催(8月)
- ・県内の地域資源を集めたおおいた地域博覧会の開催(9月)など



2024 年第4回定例会「一村一品」にて質問
(万博会場の県民ブースにてPRをしてはと提言)

…… 大分～台湾、直行便が就航 ……

4月から、大分空港と台湾の桃園国際空港(台北市に隣接)を結ぶ直行便が運航する運びとなりました。航空会社は「タイガーエア台湾」です。当面は、水曜と土曜の週2便で運航されます。(これにより、大分は韓国・台湾の2つの海外地域とつながることに)



補正予算・事業概要

今議会では、国の補正予算（約367億円）を積極的に受け入れ、物価高騰対策や人材確保等の取組を強化するとともに、災害に強い県土づくりを加速するなど、早急に対応が必要な経費に関する補正予算を審議しました。

<補正後の一般会計予算総額：721,646,932千円>

国からの補正予算

総額：36,729,927千円

- 1,140,194千円（うち物価高騰対策事業）
- 2,691,677千円（うち人材確保対策事業）
- 5,229,283千円（うち農林水産業の成長産業化）
- 27,247,778千円（うち災害への備え）

補正予算事業抜粋

- 1. 地域公共交通燃料高騰緊急支援事業**（32,026千円）
燃料費高騰の影響を受ける地域公共交通事業者を支援するため、乗合バス及びタクシーの運行に要する燃料費に対し期間を延長して助成する。
・補助対象：各燃料費の県内市場価格（各月平均）と高騰前3年平均の差額
・対象期間：令和6年11月30日までを令和7年3月31日までに延長
- 2. 貨物自動車運送業環境改善緊急支援事業**（301,847千円）
貨物自動車運送事業におけるドライバーの確保を図るため、賃上げや労働環境の改善等に向けて価格転嫁に取り組む事業者に対し、支援金を支給する。
・支給額：大型自動車 4.5万円／台、大型自動車以外 2.25万円／台
- 3. 避難生活環境改善推進事業**（120,000千円）
避難生活における良好な生活環境の実現を図るため、簡易ベッド（4,000床）の備蓄を拡充するとともに、NPO法人等が行う発災時の食事提供用キッチンカーの導入などを支援（補助率：4／5、限度額：1,000万円）する。

● 東九州新幹線等広域交通推進事業

4,881万円

東九州新幹線や豊予海峡ルートの実現を図るため、新幹線の整備計画路線への格上げ等に向けた国への要望活動を行うとともに、期成会を活用した機運醸成や、九州・四国の関係機関と連携したシンポジウムの開催などに取り組む。

・東九州新幹線PRロゴマーク等を活用した情報発信の強化 など

2022年第1回定例会「東九州新幹線・豊予海峡ルート」にて質問
（県民や関係各県の合意形成が図られるかが重要）



● 企業立地促進事業

13億9,652万円

戦略的・効果的な企業誘致を推進するため、産業用地の確保や企業誘致情報の発信を強化するとともに、誘致企業の設備投資及び雇用創出の一部に対し助成する。

- ・官民連携による産業用地整備の推進
- ・都市圏や海外の企業誘致セミナーの開催
- ・企業の設備投資及び雇用創出等への助成 など



2024年第4回定例会「半導体関連産業の振興」にて質問
（新年度には企業誘致や産業投資を具体的な姿として示すことが求められる）

● 遠隔教育システム構築事業

6,224万円

どの地域においても生徒の可能性を最大限に伸ばし、多様で質の高い高校教育を提供するため、遠隔授業等を実施する。

- ・遠隔教育配信センター（大分上野丘高校内）からの遠隔授業の実施（4校）
実施校 臼杵、佐伯鶴城、日田、宇佐
科目 数学、英語（7年度は2年生のみ、8年度は2、3年生）
- ・令和8年度遠隔授業受信校の環境整備（8校）
実施校（予定） 高田、国東、杵築、別府鶴見丘、竹田、玖珠美山、中津南、安心院
- ・夏休みなど長期休業中における特別授業の実施（26校）
実施校 県内全ての普通科設置校 など

2024年第1回定例会「遠隔教育システムの活用」にて質問
（地域の高校の活性化や入学者数の確保に向けての効果的な活用）

最近の活動

1月

- ▷連合大分2025春季生活闘争学習会
- ▷大分県警年頭視閲式
- ▶在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本的見直しを実現する日出生台集会（玖珠町）
本年1月にイギリス陸軍と自衛隊による共同訓練が初めて大分県で実施された。続いて2月からは日米共同訓練が行われるなど、軍事演習の拡大・恒常化が強く懸念される。
- ▷宇佐国東半島および阿蘇・高千穂・別府の魅力公開フォーラム（別府市）
- ▷けんしん大学「生命の基本である細胞を見つめなおす」（松井 智浩 氏：日本文理大学保健医療学部教授）
- ▷大分政経懇話会「大分県の宇宙ビジネスの可能性」（青木 英剛 氏：Space Port Japan 創業理事）



2月

- ▷大分政経懇話会「Z世代の実態—ビジネスをめぐる若者のリアル」（舟津 昌平 氏：東京大学大学院経済学研究科講師）
- ▷県警ふれあいコンサート（iichiko グランシアタ）
- ▶県知事による当初予算案説明
議会開会を控え、今議会にて提案する新年度予算案の考え方と主な事業概要について、知事から県議会各会派の議員への説明を受ける。



- ▷内外情勢調査会「人口減少社会を考える—未来への責任」（山崎 史郎 氏：内閣官房参与）
- ▷けんしん大学「人生を豊かにする感情コントロール法」（米澤 有加 氏：ユーアンドプラス代表）
- ▷大分政経懇話会「敵を知る—地政学上の影響と日本に着弾するサイバー攻撃を考察する」（増田 幸美氏：日本ブルーポイント㈱チーフエバンジェリスト）
- ▷第1回定例県議会開会

3月

- ▶連合大分「未来づくり春闘3.1総決起集会」
「物価を上回る賃上げ、適切な価格転嫁・適正取引を実現し、経済を好循環へ」を目標に県下から約2,000人の働く仲間が結集。
- ▶日韓国交正常化60周年記念事業「ライフル射撃日韓親善試合大分大会」（由布市：県立屋内競技場）
県のスポーツ合宿誘致の取組。韓国から金メダリスト2人、銀メダリスト1人が来県。本県出身のパリ五輪出場の野畑選手も参加。
- ▶自治労春闘街頭宣伝活動
お米の値段は昨年と比べてほぼ倍、ガソリン価格も高止まり。昨年以上の賃上げが必要。賃上げが当たり前の社会をつくらうと訴える。
- ▷第1回定例県議会閉会



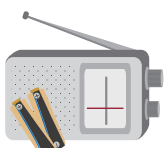
防災士 木田昇の

防災メモ

避難の判断①

地震の揺れが収まった後、誤った情報を元に行動すると危険な事になりかねません。確実に正しいとされる情報を得たうえで、次の行動をとりましょう。

停電時でも聞くことができるラジオ（電池式、バッテリー方式）のほか、テレビやスマートフォンのラジオ・テレビ、気象庁・消防署や行政のサイトなどから正しい情報を得るようにします。



SNSを活用するのも一つの手段です。X（旧Twitter）やFacebookなどのSNSは貴重な情報源です。しかし、過去にも例がありましたが、不確かな噂、偽の写真や動画が流布されることがあるので、誤った情報を信じ込まないよう注意してください。



地震後は気が動転し、自分や家族がケガをしていても気が付かない事もあります。一緒にいる者同士でケガがないか、周囲に危険がないか確認しましょう。



公式LINEはコチラ

木田昇の議会・政務活動を随時更新中。



ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！
*QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

県民クラブHPIはコチラ

<https://kenmin-club.com/>



竹の子記

今回の議会には、第3期の地方創生大分県総合戦略の内容が知られ、各会派による代議士の提案が相次いでいる。中でも、人口減少対策の観点から、大分県の最大の課題である人口減少対策の推進が、各会派から強く求められている。特に、人口減少対策の観点から、大分県の最大の課題である人口減少対策の推進が、各会派から強く求められている。